

社有林と工場を活用した自然体験型環境プログラム 2019年度「王子の森・自然学校」第15回参加者募集のお知らせ ～2ヶ所で3校開催(北海道校・富士校)～

王子ホールディングス株式会社と公益社団法人日本環境教育フォーラムは協働で、王子グループの工場・社有林などを活用した、子ども向けの自然体験型環境教育プログラム「王子の森・自然学校」を、2019年8月に北海道・静岡県の2カ所で開校します(3校開催)。

王子グループは、国内に約650カ所、約19万ヘクタールの社有林を維持・管理し、「大気保全」「水源の涵養」「土砂流出防止」「生物多様性保全」など、森林の持つ公益的機能の維持に努めており、この社有林を活用した社会貢献活動として、2004年より「王子の森・自然学校」を開校しています。

本自然学校は、王子ホールディングスが所有する社有林での自然体験プログラムや製紙工場の見学を通じて、「人・森・産業のつながり」を楽しく学ぶ体験型の日帰りプログラムです。社有林でプロの木こりと一緒に、間伐などの“森づくり”を体験したり、森の恵みを使ったクラフト作りをしたり、その木が私たちの使う紙になる工程を工場で学びます。子どもたちが感じた「びっくり」や「気づき」を通して、森の恵みが私たちの暮らしを支えてくれていることを実感します。

今後とも王子グループは、環境教育面での社会貢献に努めてまいりたいと考えています。

【2019年度王子の森・自然学校(日帰りプログラム)概要】

対 象	小学4年生～6年生
人 数	各校30名(抽選)
募集期間	5月31日(金)～6月30日(日)必着 (*7月20日(土)までに、当選者にのみ通知を発送)
参加費	無料(ただし、傷害保険料と集合解散地への交通費は自己負担)
主な目的	① 人・森・産業のつながりを自分事にとらえ、考えて行動できる子どもを育む。 ② 働く大人を間近で見て、子どもが自分の将来を考えるきっかけとする。 ③ 民間企業としては最大の森林所有者として森林を活用した社会貢献を行い、社有林や工場がある地域の子どもへ貢献する。
プログラム	製紙工場見学、植樹体験、間伐体験、クラフト作りなど(以上は予定) ※内容は各校、自然環境・地理的条件などにより、異なります。
主 催	王子ホールディングス株式会社・公益社団法人日本環境教育フォーラム
後援(予定)	文部科学省、環境省、林野庁、他(昨年実績)
申 込	日本環境教育フォーラム ホームページより http://www.jeef.or.jp/activities/oji/

【本件に関するお問い合わせ】

王子ホールディングス株式会社 広報IR室長 池田 和 (TEL)03-3563-4523

【北海道校】

日程	8月9日(金)	日帰りプログラム
場所	(社有林) 苫小牧山林	(工場見学) 王子製紙苫小牧工場
現地プログラム運営	NPO 法人当別エコロジカルコミュニティー	
プログラムの特徴	北海道らしい針広混交林の森づくりを体験し、王子の森に育まれた生物多様性を学びます。(植樹、間伐体験、箸づくり、工場見学)	

【富士マテリア校】

日程	8月21日(水)	日帰りプログラム
場所	(社有林) 朝霧山林	(工場見学) 王子マテリア富士工場
現地プログラム運営	NPO 法人ホールアース研究所	
プログラムの特徴	森づくり活動を通して「人」と「木」・「紙」との関係について考えます。 (伐採の見学、間伐体験、木エクラフト、工場見学)	

【富士エフテックス校】

日程	8月22日(木)	日帰りプログラム
場所	(社有林) 朝霧山林	(工場見学) 王子エフテックス東海工場富士製造所
現地プログラム運営	NPO 法人ホールアース研究所	
プログラムの特徴	森づくり活動を通して「人」と「木」・「紙」との関係について考えます。 (伐採の見学、間伐体験、木エクラフト、工場見学)	

以上